

コントラスト感度視力検査装置

CAT-CP2

Contrast Sensitivity
Accurate
Tester



コントラスト感度視力の
測定がオートで簡便

オート測定

自動測定で
測定が容易です

視認しやすい

視認しやすい
ランドルト環視標を
採用しています

コンパクト

コンパクトなサイズで
場所をとりません

臨床現場で 有効

明るさの環境や
コントラスト段階など、
必要な項目だけを
組合せられます

平均輝度一定

平均輝度の変化による
影響を少なくした
視機能検査ができます

検査が簡便

従来の視力検査感覚で
検査ができます

コントラスト 25%の検査

特に白内障の
術前・術後の
評価に有用です

推薦のお言葉

CAT-CP2 推薦のことば

魚里 博

現在、各社から様々な工夫を凝らしたコントラストの変化に対する視機能の評価に用いる装置が商品化されている。本機は平成13年に同社から発売されたコントラスト感度視力検査装置CAT-2000の原理を踏襲し、機能を絞り込んだコンパクト版である。

これまでにCAT-2000を用いた白内障への適用¹⁾ 2) に関する研究がなされてきた。我々も北里大学眼科でその臨床的有用性を確認した³⁾。

本機の特徴は各コントラストにおける視標の平均輝度を一定に保つ独自の機構とランドルト環視標を採用したことにある。

一般に馴染み深い矩形波であるランドルト環を使用することにより従来の視力検査と同じ感覚で検査を受けることができ、患者も理解しやすく測定

の簡便性を向上させている²⁾。また視標は対数配列のため術前・術後の視力比較や統計処理が容易である³⁾。

そして、白内障の術前・術後の評価で有意差が認められる25%のコントラストで検査できることと、昼間視のみならず薄暮視やグレア光の負荷など様々な環境による見え方を評価できる機能がある。

装置を選択するにあたりその特徴をよく理解することが大切であり、臨床においてコントラストの変化に対する視機能を評価することで患者様の更なるQOVの向上に寄与することを期待する。

【文献】

- 1) 遠田 詩野 他：白内障の混濁病型からの矯正視力およびコントラスト視力予測 日本白内障学会誌 27：68～73,2015
- 2) 李 俊哉 他：新しいコントラスト感度検査装置（CAT-2000）試作機の評価 第54回日本臨床眼科学会原著（G610-3PM-2） 臨床55(6)：1147-1150, 2001
- 3) 野上 かおり 他：CAT-2000での低コントラスト視力 日本視能訓練士協会誌 32：115-119, (2003)

特長

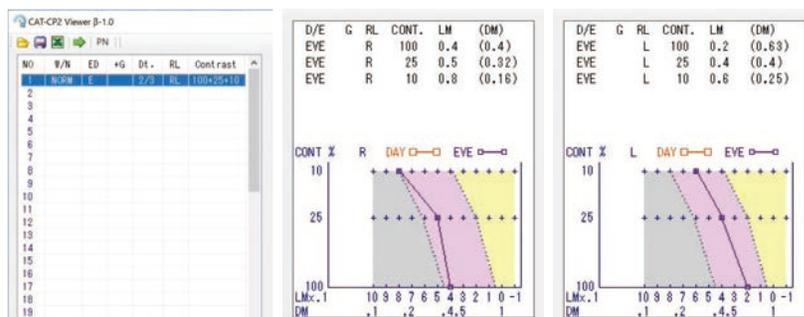
- 昼間視に加え、薄暮視、さらにグレア負荷検査ができます。
- コントラスト値は100%、25%、10%の3段階です。特定のコントラスト値を選択して測定することも可能です。
- 視標はランドルト環を用いており、視標範囲はNORMとWIDEの2段階を切替スイッチで選択可能です。

NORM 1.0 logMAR～-0.1 logMAR 12段階

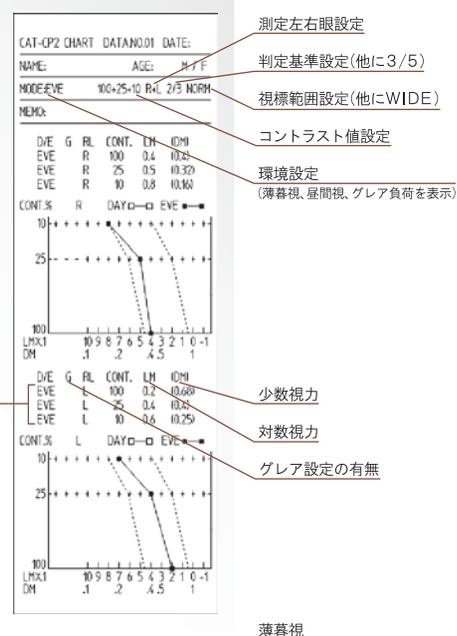
WIDE 1.3 logMAR～-0.1 logMAR 15段階に

小数視力0.7(運転免許取得基準視力、0.155 logMAR)を加えた16段階

- 測定はオートで音声による操作案内があります。
- 測定結果はプリンタ出力でき、パソコンへのデータ出力も可能です。



出力例(プリンタ用紙)



仕様

- 測定方式：自動測定
- 視標種類：ランドルト環
- 視標サイズ：対数視力値 1.3 logMAR～-0.1 logMAR
0.1ステップと0.155 logMARの計16サイズ
- 測定距離：遠用
- コントラスト段階
：100%、25%、10%の3段階
- 視標部輝度(視標輝度+背景輝度)
：昼間 200cd/m²・薄暮 10cd/m²
- 視標照明およびグレア用光源
：白色LED

- 質量：約14kg
- 本体寸法：240mm(W)×340mm(D)×420mm(H)
- 定格電源：AC100V～240V 50～60Hz 150VA
- 使用温度：10°C～35°C
- プリンタ：サーマルグラフィックプリンタ

オプション

- 感熱記録紙2巻1ケース
- アゴ紙

NEITZ
株式会社ナイツ

〒102-0082 東京都千代田区一番町15-21 一番町コート4階
TEL 03-3237-0551 FAX 03-3237-0554
www.neitz.co.jp

●代理店

